

23	立山ジョイ・フレンド1（解説） ～グループの協力で取り組む野外ゲーム～	適 期	4月～11月
		所要時間	1. 5時間～3時間程度 (時間を決めて実施も可能)
主なねらい ○友とのきずなを強める ○グループで協力する ◎グループへの所属意識を高める ○個の活躍と承認のチャンス		対 象	小学校中学年～

「立山ジョイ・フレンド」は、ゲームをクリアすることが主目的ではなく、クリアするための話し合い、振り返る活動を繰り返すことで、コミュニケーション能力や協力性などを高めることが目的です。

<基本的な流れ>

- ①各ゲーム前の作戦会議
- ②途中やうまくいかないときの意見交換
- ③各ゲーム終了後の振り返り

この活動プログラムは、森の中で他の人と協力して、ゲームを楽しむ活動です。1. 5時間～3時間の設定時間の中でいくつかの野外ゲームから内容を選択して実施します。

また、この活動は、ジョイ・フレンド2（森の中でのエンカウンター的ゲーム）の前段の活動として行うと、ジョイ・フレンド2でグループの結束力や協力関係が高まります。また、ジョイ・フレンド2の後に行う流れもおすすです。

1 この活動のゲーム例

- ①金塊さがし（指導者は金塊を森の中にランダムに置き、参加者は探す範囲を分担して、2～3人1組で森を探し回るゲーム）
- ②ぼくらは地球探検隊（指導者が森の中のものを採取し、シートに並べる。参加者は全く同じものを森の中から採取してくるゲーム）
- ③森のかくれんぼ（指導者がある範囲内にいくつかの人工物を置き、何個見つけられるかというゲーム）
- ④音のOL（ナイトゲーム）（やや動的）（指導者が鳴り物をもって森に入り、30秒に1回程度鳴らせる。参加者は音源を捜し、何人の音源と出会えるかを競うゲーム）
- ⑤林間立ち木とり（2人1組で、つないだ手を離さずに木にヒモを結びつけるゲーム）

2 ゲームの選び方

参加者の実態に応じて、ふさわしい難易度のゲームを選んだり、ルールを変更したりして、その活動でどんな力をつけたいかよく精査してから臨んでください。指導者の目的や意図を参加者にしっかり伝えたり、活動後に一緒に振り返ったりする場を設定してください。

3 評価について

最後に総合成績として、キャンプファイヤー等の場で表彰する方法も一つです。これらのゲームでは、活躍した友達の様子や積極的だった班の理由などを振り返ることで、指導者の目的に応じたゲームの成果がより一層高まります。

学校・団体の担当者が各ゲームを指導することになります。担当者は、ゲーム内容を十分に把握した上で実施してください。指導方法が分からない場合は、職員にお尋ねください。事前に担当者の方に説明します。